

R4年度 とよたシニアアカデミー通年コース 文化工芸学科 * * * 6月の講座紹介 * * *

入学して3か月が過ぎました。選択講座もいよいよ大詰めを迎えて、これからは文化工芸学科全員で学ぶ機会が増えて来ます。新しい仲間もできて、みんなに会えるのが楽しみ～！という声も聞こえて来ました。

6月15日、22日(水)「狂言を楽しむ」①②



講師：井上松次郎 氏



班長によるはじめの挨拶。



能楽堂の舞台。すり足で登場します、そろりそろり…



扇を盃に見立てます…



舞台上では所作の体験、緊張します。



お酒を飲み干しましょう。

学生の感想 (抜粋)

- ・「狂言」を2回の講義で、ある程度理解することができた。伝統芸能を後世に残していくことの大切さもひしひしと感じた。これからは、能・狂言の世界を楽しんで行こうと思う (60歳代男)
- ・必要最小限の登場人物と小道具のみで進行する「能・狂言」では、演者も観客も想像力が大切である事を学んだ。日本的な心情と想像力が身につけば最高だと思いました (60歳代男)
- ・初めての能楽堂、簡素な舞台と演技は面白く、深い神秘性を感じた。楽屋では、太鼓の馬皮の乾燥の話が印象深い (60歳代男)



楽屋の解説も受けました

6月29日(水)落語入門



落語のオチのパターンについて解説する講師。



講師：微笑亭さん太 氏

学生の感想 (抜粋)

- ・豊富な経験と知識に基づいた落語のカテゴリー、オチの種類などの話を聞いて、落語の奥深さを感じた (60歳代男)
- ・さすがにお話が上手！声も良かったです。落語を話す人は、皆このような話し方になるのでしょうか。話に夢中になり時間が短く感じました (60歳代女)
- ・落語についての勉強は初めて、大変良い機会になりました。落語は日本独特の文化であり大切にしていきたい (70歳代男)



真剣に聞き入る学生



終わりの挨拶も名調子で決めます！



うーん、そうだったのか…